

製品名: CD116 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08192**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	CSF2RA
別名	CSF2RA; CSF2R; CSF2RY; Granulocyte-macrophage colony-stimulating factor receptor subunit alpha; GM-CSF-R-alpha; GMCSFR-alpha; GMR-alpha; CDw116; CD116
遺伝子 ID	1438.0
SwissProt ID	P15509
免疫原	抗血清はヒト CSF2RA の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

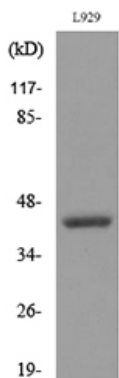
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、顆粒球およびマクロファージの産生、分化、および機能を制御するサイトカインであるコロニー刺激因子2のヘテロ二量体受容体の α サブユニットである。コードされるタンパク質は、サイトカイン受容体ファミリーのメンバーである。この遺伝子は、X染色体およびY染色体の擬似常染色体領域 (PAR) に存在する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかり、一部のアイソフォームは膜結合型、その他は可溶性である。[RefSeq 提供、2008年7月],domain:ボックス1モチーフは、JAKとの相互作用および/または活性化に必要である。、domain:WSXWSモチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体結合に必要であると考えられる。、function:顆粒球マクロファージコロニー刺激因子の低親和性受容体。造血細胞の増殖、分化、および機能活性化につながるシグナルを伝達する。、その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X染色体およびY染色体の擬似常染色体領域1 (PAR1) に位置する。、類似性: I型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ5サブファミリーに属する。、サブユニット: α サブユニットと β サブユニットのヘテロ二量体。 β サブユニットは、IL3、IL5、およびGM-CSF受容体に共通である。、

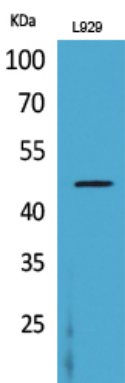
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;造血細胞系譜;癌における経路;

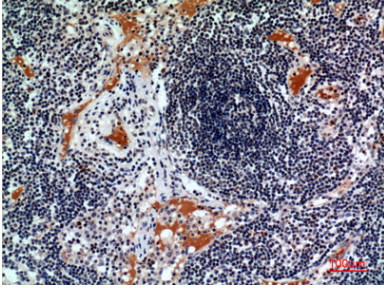
画像データ



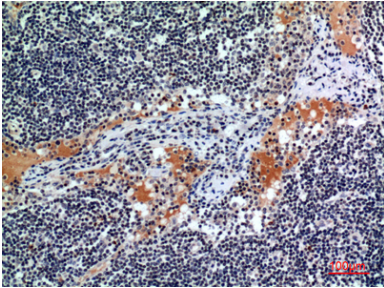
CSF2RA 抗体を使用した L929 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CD116 ポリクローナル抗体を用いた L929 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒトリンパの免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒトリンパの免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された